

平成 29 年 6 月 13 日

関係各位

(一社) 沖縄県歯科医師会  
会長 比嘉 良喬  
(公印省略)

フッ化物洗口研修会のご案内

平素より本会会務運営に対しご理解、ご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、本会では、沖縄県委託「平成 29 年度沖縄県 8020 運動・口腔保健推進事業」の一つとして、標記に関する研修会を下記の通り開催することとなりました。

今回は、神奈川歯科大学大学院口腔科学講座 口腔衛生学分野 教授 荒川 浩久先生に『みんなで健康を創る～フッ化物の上手な利用法～』を演題に講演していただきます。

つきましては、沖縄県歯科医師会事務局へ平成 29 年 7 月 26 日までに FAX にて (098-996-3562) お申込み下さいますようお願い致します。

多数のご参加を賜りますようご案内申し上げます。

記

日 時：平成 29 年 7 月 30 日 (日) 午前 10 時～正午

場 所：沖縄県口腔保健医療センター 2 階 大研修室

対 象 者：歯科医師・歯科衛生士・医師・保健師・医療従事者・行政関係者

参 加 費：無料

演 題：『みんなで健康を創る～フッ化物の上手な利用法～』

講 師：神奈川歯科大学大学院口腔科学講座 口腔衛生学分野 教授 荒川 浩久先生

講演内容：裏面

沖縄県歯科医師会事務局 FAX (098-996-3562)

フッ化物洗口研修会申込書

平成 年 月 日

所 属	申込者名	職 種

※連絡先

TEL ( \_\_\_\_\_ ) FAX ( \_\_\_\_\_ )

## 『みんなで健康を創る ～フッ化物の上手な利用法～』

講師：神奈川県立歯科大学大学院口腔科学講座口腔衛生学分野 教授 荒川 浩久（あらかわひろひさ）

日時：7月30日(日) 10:00~12:00

場所：沖縄県口腔保健医療センター

### 《略歴》

1977年 神奈川県立歯科大学卒業

2000年 神奈川県立歯科大学口腔衛生学教授、大学院指導教授

2001年 日本口腔衛生学会常任理事（2013年5月まで）  
フッ化物応用委員会（現在まで）

2009年 厚生労働科学研究「フッ化物応用の総合的研究班」主任研究者（3年間）

2009年 ISO/TC106WG4 日本エキスパート（2012年より同WG3追加）

### 《講演内容》

健康な歯をできるだけ長く保ち活発な咀嚼を保つことが全身の健康保持に大きく関連することが解明されるにつれ、歯の喪失原因であるむし歯と歯周病の予防の大切さが見直されています。とくにむし歯は、生えたての歯ほどかかりやすく、一度罹患すると元の健全な状態に戻ることがありません。しかも、一度むし歯にかかった歯は、一生涯その影響に悩まされることとなります。そこで、みんなの力で子どもたちの歯を守ることから始める必要があるのです。その点、フッ化物応用はむし歯の予防とコントロールに有用であり、地域あるいは個々人に適した組み合わせが考えられています。世界的には、全身的应用（水道水フッ化イオン化など）とフッ化物配合歯磨剤を組合せることが基本であり、むし歯のリスク（かかりやすさ）に応じてフッ化物洗口やフッ化物塗布も併用されています。ところがわが国では、フッ化物の全身的应用は実施されていないため、局所的应用であるフッ化物配合歯磨剤、フッ化物洗口、フッ化物塗布のすべてを組み合わせています。

ぜひ、本日の内容を咀嚼して、子どもたちのむし歯が最も多い県、沖縄の汚名返上のためにも、フッ化物応用を活かしていただきたいと思います。今やフッ化物応用は子どもたちだけのものではなく、歯と歯の間や歯根部のむし歯発生の危険の高い成人や高齢者まで、生涯を通じた使用が望まれています。

### 《主な著書》

- ・荒川浩久ほか：フッ化物応用の科学（財）口腔保健協会 2010年
- ・荒川浩久ほか：フッ化物配合歯磨剤によるう蝕予防効果をさらに高めるために Dental magazine 2011年
- ・荒川浩久：フッ化物応用の安全性 ①急性毒性 歯界展望 2012年
- ・荒川浩久ほか：ライフステージに応じたフッ化物応用 DMR 2013年
- ・荒川浩久ほか：ヒスケアを考える デンタルエコー 2014年
- ・荒川浩久：すべてのライフステージにおけるフッ化物応用 21世紀の健康づくり ザ・クインテッセンス 2015年
- ・荒川浩久ほか：歯科衛生士のための歯科臨床概論 医歯薬出版株式会社 2016年
- ・荒川浩久：根面う蝕予防のためのセルフケアによるフッ化物応用 日本歯科医師会雑誌 2017年